

## 平成29年度事業計画書

平成29年2月20日

公益財団法人 名勝依水園・寧楽美術館

平成29年度（平成29年4月1日～平成30年3月31日）事業計画の概要

依水園は、昭和33年に一般公開を開始し、昭和50年に名勝庭園の指定を受けた。しかし年月を経て、庭園はもとの姿と異なった箇所も現れてきた。これを修復するため、平成15年度から「名勝依水園整備委員会」の指導のもと、文化庁、奈良県、奈良市からの補助金に基づく庭園整備事業が行われ、昨平成28年度でその修復が完了した。今平成29年度からは、庭園の公開を、この修復された形で継続していく。またこの状態を永く維持するため、平成27年度より開始した庭園整備特別準備金の積立を、今年度以降も継続していく。

美術館では、平成28年度末にすべての照明のLED化を実現した。全国の美術館のなかでも先行したものであり、今年度からはこの優れた環境の中で展示を継続していく。4月1日より9月10日まで企画展として「いのちあるよろこび」を開催する。収蔵品の中から動物をモチーフにした美術品の展示を行う。従来当美術館には、なじみの少ない小、中学生をも意識した企画としている。10月からは企画展として「中国古印―寧楽美術館コレクションより―（仮題）」の開催を検討している。これは後述の印章に関する書籍の発行を記念したものとなる。

毎年実施している、田能村竹田筆、重要文化財『亦復一楽帖』の一図ごとの特別陳列に関しては、4月1日より14日まで第八図「把盃卓立」を、11月は第九図「有目而無所睹」を陳列する。

他美術館への収蔵品の貸し出しに関しては、昨年度の「宋拓 晋唐小楷帖」の大阪市立美術館への貸し出しを期に、今年度からは要請があれば、できるだけこれに応じていく。

当財団は長らく出版物の発行を行っていなかったが、今年度は、印章に関する書籍の発行を予定している。これは、日本で有数のコレクションといわれる当財団の中国古印に関する収蔵品の一端を紹介するものである。

平成20年5月より毎年開催している、「依水園文化講演会」を、今年度も2回開催の予定である。春は、後述の開園記念日の煎茶道体験会にちなみ、煎茶道、文人趣味に関する講演会を予定している。

平成27年度より開始した、6月1日の開園記念日を割引料金とする企画を今年度も継続する。また今年度も昨年度につづき、この日に当財団敷地内茶室の三秀亭で、煎茶道を入園客に体験してもらうイベントを企画する。これは三秀亭が本来煎茶道の茶室であったことに基づくものである。

平成25年より例年2月に奈良市主催で開催されている珠光茶会開催期間中、園内の茶

室を公開する「依水園お茶室見学会」を開催している。通常公開していない建物内部を見学できる機会として好評を得ているので、これを今年度も開催する。

庭師の人材育成の為に開講している「庭園大研究会」を今年度も継続して開催する。

今後も公益財団法人として公開収入の増額を目指すとともに、魅力ある観光スポットとして前向きに企画をたてて大勢の入園・入館者に喜んでいただけるように努めたい。

以上